



都の西北

2025年(令和7年)10月1日

早稲田大学校友会 昭島稲門会会報 第15号



集まり散じて人は変われど・・・



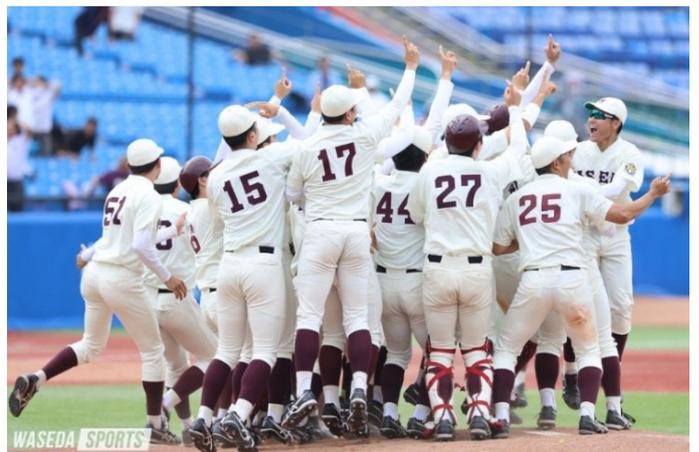
普段「早稲田愛」などとは無縁の生活を送っている私たちです。でも、さまざまなスポーツイベントでの早稲田の活躍は、いつも私たちの胸を躍らせてくれます。「早稲田愛」なんて関係ないという方も、正月の2日、3日はテレビの前に釘付けになってはいませんか？早稲田に学び、早稲田で出会った多くの仲間と青春を過ごした私たち。卒業して何年経とうとも早稲田を想

う気持ちが心のどこかにきつと棲みついているのでしょう。

昭島稲門会には現在50名近くの仲間がいます。昔を懐かしむだけの集まりではありません。皆さんそれぞれに自分の興味のある活動に参加し、卒業後の人生を楽しんでいます。私たちには勿論入会審査などといったものではありません。誰でもいつでも参加できる緩やかな組織です。

主な活動は次ページ以降に紹介していますが、「ハイキング(下左の写真)」「ゴルフ」「カラオケ」「シネマ」と4つのサークルが飲み会付きで活動しています。サークル以外にも、ラグビーの観戦や現役学生との交流会、近隣の稲門会との懇親などさまざまです。飲んで食べて駄弁るだけの催しもあります。

「集まり散じて人は変われど・・・」、私たちはこれからも健康で刺激に富んだ活動を続けていきます。ぜひ一度覗いてみては如何でしょう。(スポーツ写真3点は早稲田スポーツ新聞会より提供)



カラオケ倶楽部

- ・毎月最終日曜日の9時～12時
- ・昭島駅北口「まねきねこ」
事前連絡不要、途中入室、退室自由
(フロントで昭島稲門会と)
- ・年代的には昭和から最近の歌まで
- ・ジャンル：ニューミュージック、フォーク、Jポップス、アメリカンポップ、ビートルズ、ラテンの名曲など

楽しい時間が流れ、空間が広がります。大きな声を出すことはストレス発散にもなるし健康にも良いようです。初めての方も是非ご参加ください。

ハイキング同好会

ハイキングは春と秋に開催しております。春はお花の咲くコース、秋は紅葉を愛でながらの軽いハイキング。



今年の春は瑞穂町にある六道山公園の山桜の下で会食、楽しいひと時を過ごしました。秋は11月25日高尾山薬王院を訪ね、山麓でお蕎麦を食べながら懇談を予定しています。企画は誰でも参加できるよう易しいコースを選定します。1時間半程度の軽いハイキングですので奮ってご参加ください。



ゴルフ同好会

ゴルフは老若男女を問わず、又上手な人もそうでない人も一緒に楽しめるスポーツです。コンペは春と秋の年2回。八王子の「武蔵野ゴルフクラブ」で開催。この定例コースは昭島から車で30分以内、参加者は車で乗り合わせて行きますので足の心配はありません。



細かいルールにはこだわらず、楽しく過ごすことを第一としています。ハンディ戦で順位はつけますが、昭島に帰ってからの中華料理をいただきながらの反省会の話題として皆さんの楽しみの一つです。



シネマの会

- ・開催場所：ムービックス昭島
- ・頻度：不定期開催
- ・対象：監督、出演者、ジャンルの特定なし
- ・開催案内：メールで送ります

映画館の大画面で良い音響で別世界に没頭できる、非日常の空間を共有する場です。



終映後の懇親会で、にわか評論家として意見の交換をしながら、軽食とアルコールを楽しむこともあります。

各サークルについてのお問い合わせは幹事長まで

こんなユニークな会員が……

『日本百名山』を延べ300回登頂し、いまでも山歩きを

秋山和紀さん 昭和44年(1969年)政治経済学部卒業
現 昭島カルチャー『山歩き講座』講師



左から3人目が秋山和紀さん

秋山さんは「ハイキング同好会」の幹事で、毎回企画からガイドまで担ってくれています。(以下は秋山さんの寄稿です)

山歩きは、大学の同好会『歩行会(あるこうかい)』に入部してからですが、都会の夜間行軍や山野を歩くワンダーホーゲルなど多様な歩きを経験しました。

『日本百名山』との出会いは昭和43年に深田久弥『日本百名山』を手にした時で、氏はまだ交通網が未発達時代に、北海道利尻岳から鹿児島県屋久島の宮之浦岳まで全国を廻り、「百名山」にまとめています。

当時の私は、何とまあ世の中には暇とお金に飽かせて登山ができる、そんな人もいたのだと思っただけで、自分が百名山をすべて登れる日が来るなどとは思っていませんでした。

百名山の登頂は1965年(昭和40年)尾瀬の燧ヶ岳が初めて、大学時代から退職後まで50年かけて、2015年10月赤城山ですべてに登頂となりました。この時点で百名山は延べ241回登頂となっていました。その後も続け、2025年1月、筑波山で『日本百名山』延べ300回登頂を果たしました。達成は山歴60年の記念すべき年でした。

山歩きはいまも続け、現在はガイドとしても活動していますが、山の魅力は、1.日本アルプスなどの雄大な山岳風景 2.崇高な富士山の眺望 3.ご来光の荘厳な美しさ 4.樹木の緑、高山植物や山野草、樹々に咲く花々など、山でしか見られない自然の偉大さではないでしょうか。



深田 久弥 (ふかだ きゅうや)

1903年(明治36年)3月11日～

1971年(昭和46年)3月21日

氏は、石川県大聖寺町(現・加賀市)生まれの小説家、随筆家および登山家、チベット・ヒマラヤ研究者である。

『日本百名山』は1964年(昭和39年)発行、1968年(昭和43年)10刷

こんなユニークな会員が……

内藤俊一さん、童話「どうぶつむらシリーズ」第2巻を刊行

昨年、「どうぶつむらのケンタくん」を発刊した内藤俊一さん。本年5月、第2巻「ケンタくんのしらなかつた」を上梓されました。

いまの子どもたちの育ちに疑問を抱き、子どもたちの健やかな成長を願う内藤さんの思いが詰まった第2巻。絵も文章も美しく、ぜひ新1年生となったケンタくんの成長を、お孫さんやお子さんたちと一緒に見守ってください。

内藤さんは、昭和37年(1962年)理工学部建築学科卒業

絵本のお問い合わせは、(株)琢建築構造設計 出版部 080-2126-0151まで



昭島稲門会で新たな出会いを

会長 梅田 正宏

昭島稲門会は、「早稲田に学んだ校友同士の親しい交流の場」として発足し、今年で40年を迎えます。

これまでさまざまな活動に取り組み、その輪を広げてきました。

先のページでご紹介したものの以外では、新春顔合わせ会など年に数回会員同士の親睦交流の場を設けるほか、近隣稲門会とは定期総会や



集まりの締めはいつも校歌斉唱

近隣稲門会が実施する催しへの参加など、その多くは美酒佳肴を楽しみながらですが、和気あいあい親睦を深めています。また、大学総長を迎えて開催する三多摩支部大会など広域活動への参加や大

学校友会の組織充実のための活動などにも取り組んでいます。稲門祭には毎年、市内の障害者就労プラザで製作した藍染ハンカチを提供するなど、地域貢献活動も続けています。

市内には約500名の校友がおります。しかし、本会に加入いただいているのはその1割程度に過ぎません。会員には実に多彩な知識、経験、趣味をお持ちの方が多くおられます。しかしこの先も、組織の新陳代謝を促し、活性化させていくためには、これまでに増して斬新かつ自由な発想や女性の視点が不可欠です。

私たちは、ホームページを公開し、毎年発行している会報を5年に一度すべての校友にお送りし、昭島稲門会の紹介に努めています。入会は敷居が高い、時間的余裕がないということであれば、興味のある催しに試しに参加してみるだけでも大歓迎です。

私たちは老若男女を問わず多くの校友の皆さんとの出会いを心からお待ちしております。

< 訃報 >



会報を毎号彩ってくれた漫画「WOBさん」の作者、福田武氏が本年2月に逝去されました。氏は、早稲田大学漫画研究会の創設メンバーで、漫画家でエッセイストの東海林さだお氏らとともに現在の漫研の礎を築いた方です。なお、「WOBさん」はご遺族の了解を得て、これからも暫く未発表作品を中心に掲載を続けてまいります。



入会などのお問い合わせは

会長：梅田 正宏 (☎) 080-8157-0492
幹事長：山中 皓博 (☎) 090-9953-7404

umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp
yamanaka-akihiro@nifty.com